

# 【資料1】

# 雇用状況等調査集計について

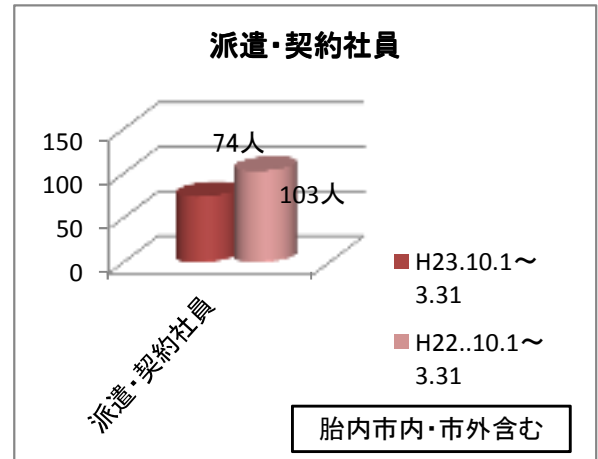
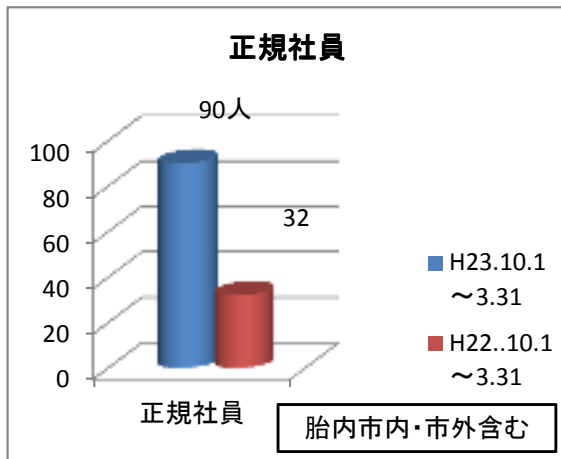
## 調査期間

- ・今回調査：平成23年 10月1日～平成24年3月31日
- ・前回調査：平成22年 10月1日～平成23年3月31日

	今回調査	前回調査	前回は
配布数	166	171	▲ 5
回答数	123	133	▲ 10
回答率	74.00%	73.70%	▲0.40%

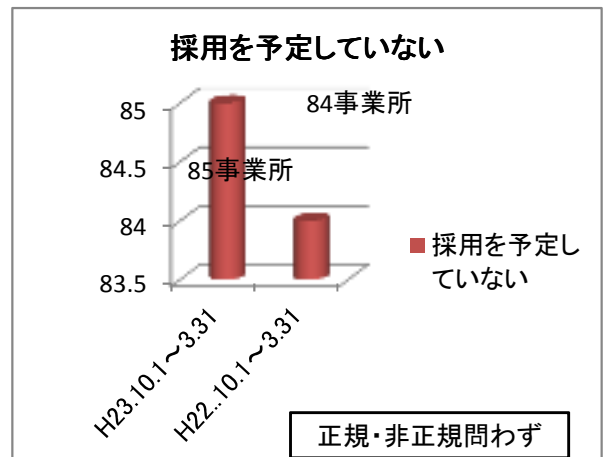
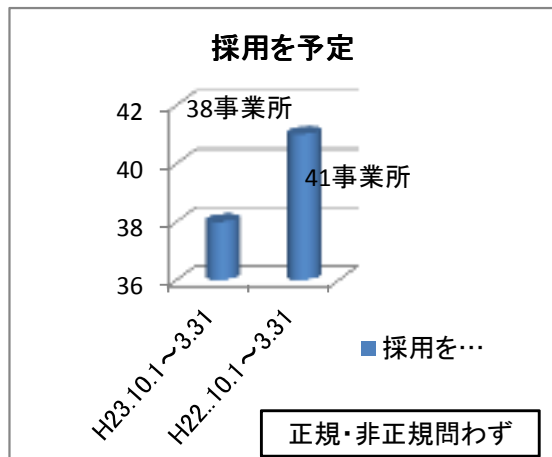
## 1.解雇状況（平成23年10月1日から平成24年3月31日）

		住居			計
		胎内市内	市外	不明	
正規社員	今回調査	67人	23人	0人	90人
	前回調査	20人	12人	0人	32人
	前年比	47人	11人	0人	58人
派遣・契約社員	今回調査	47人	25人	2人	74人
	前回調査	62人	36人	5人	103人
	前年比	▲ 15人	▲ 11人	▲ 3人	▲ 29人



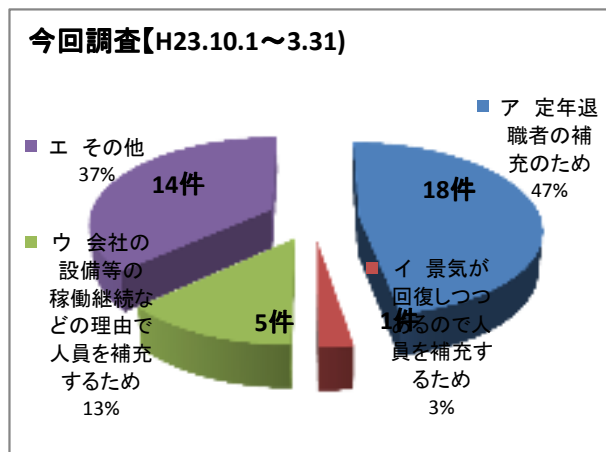
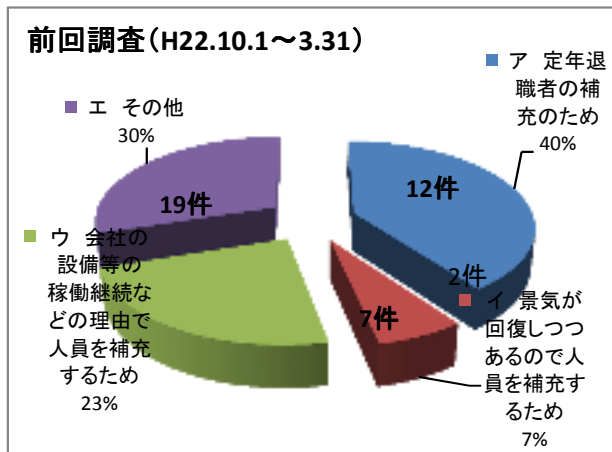
## 2.来年度採用予定について(正規・非正規問わず)

	今回	前回	前年比
ア 採用を予定している	36	41	▲ 5
イ 採用を予定していない	85	84	1



### ※採用を予定している理由

	今回	前回	前年比
ア 定年退職者の補充のため	18	12	6
イ 景気が回復しつつあるので人員を補充するため	1	2	▲ 1
ウ 会社の設備等の稼働継続などの理由で人員を補充するため	5	7	▲ 2
エ その他	14	19	▲ 5

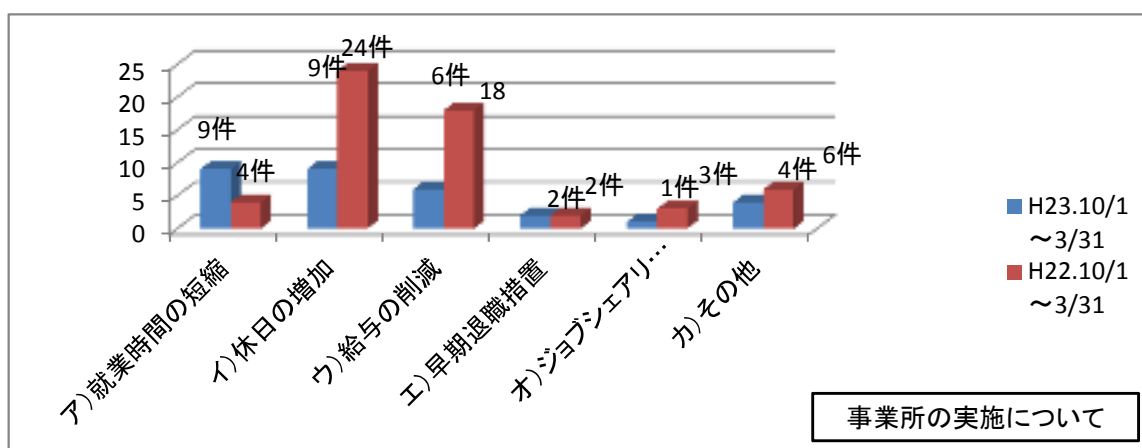


### 3. 採用予定人数について

調査	人数	前年比
今回調査	155人	
前回調査	165人	
前年比		▲ 10人

### 4. 実施について(複数可)

項目	今回調査	前回調査	前年比
ア) 就業時間の短縮	9件	4件	5件
イ) 休日の増加	9件	24件	▲ 15件
ウ) 給与の削減	6件	18件	▲ 12件
エ) 早期退職措置	2件	2件	0
オ) ジョブシェアリング	1件	3件	▲ 2件
カ) その他	4件	6件	▲ 2件



### 5. 雇用助成調整金を利用しましたか

	今回	前回	前年比
ア 利用した	6	13	▲ 7
イ 利用していない	117	111	6

**【総評】**

●正規社員と派遣・契約社員の解雇状況について、正社員32人から90人、派遣・契約社員103人から74人と、正社員の解雇人数が大幅に増となり、派遣・契約・社員は減となっているが、これは雇用従業員を正社員から派遣・契約社員に切り替えている影響であると思われる。

●来年度採用予定について、来年度採用を予定している事業所は、今回の調査では、41から36事業所と若干ながら減となっており、採用を予定していない事業所は、84から85事業所で微増となっている、採用予定の理由として、ア)の定年退職者の補充の為に12件から18件、イ)の景気が回復しつつあるので人員を補充する為に、2件から1件の減、ウ)の会社の設備等の稼働継続などの理由で人員を補充する為に、7件から5件と減。エ)のその他は19件から14件と5件の減であるが、その他の理由として、欠員の補充の為に2件、退職者(本人希望)の補充が1件、介護施設の増設の為に1件、サービス体制強化の為に1件、季節営業を再開する為に1件、企業成長の為に1件、事業所内技術強化の為に1件、定期採用が1件、若い人員の補充が1件となっており前回と比べてさほど変動がなかった。このことについて、来年度の採用ということで各事業所とも今後、状況により変動すると思われる。

●採用予定人数についても、今回の調査で、36事業所から155人の採用を見込んでいるが上記に連動して、状況により変動することが見込まれる。

●各事業所における実施については、今回の調査では、ア)の就業時間の短縮が9件、イ)の休日の増加が9件、ウ)の給与の削減が6件、エ)の早期退職処置については2件、オ)のジョブシェアリングが1件、その他が4件となっており、前回の調査と同じような傾向が見られるが、イ)の休日の増加とウ)給与の削減が前回調査に比べ2分の1以上の減となっており、正社員を契約・派遣社員への切り替えの影響での減少であると考えられる。

●雇用調整助成金制度を利用したことがありますか、との回答について、今回の調査で、利用した6件、利用していない117件で、前回の調査に比べて利用している企業が減少している。